

やまゆり通信 VOL.33

令和5年9月23日

天竜やまゆり保護者会
会長 曾根 担当 川井

平素は、保護者会へのご理解とご協力を頂きありがとうございます。
秋の夜長の季節となり、朝夕だいぶ過ごしやすくなってまいりました。皆さまお元気でしょうか。病棟の子供達がお散歩に出ている姿を最近よく見かけます。天竜病院は山の上ですので下界に比べると風が若干涼しく感じられます。保護者が子供達と外にお散歩に出られる日が早く来る事を切に願ってやみません。

♪曾根会長より♪

【活動報告】

○7月23日(日) 国立病院機構 神奈川病院ひまわり会 会長 小松様
『定例会&ミニ親睦会』開催 ～納涼亭～ 参加者 6名

○9月9.10日 全国重症心身障害児者を守る会 全国大会 ～広島～
参加者 曾根会長・川井 2名参加

○9月16日(土) 守る会静岡支部 施設部会 ～WEB会議～
参加者 川井



【全国大会感想】

曾根・川井

対面での開催が 久々となり、多くの参加者で盛況でした。今、私たちの行政の管轄は、

「こども家庭庁」です。

(分科会)～国立病院機構～

国立病院に重症心身障害病棟が開設されて50年以上が経過し、入所者の加齢に伴う医療・看護度の重度化が進んでいる。令和3年に医療的ケア児支援法が施行、在宅支援への対応が求められている。新規入所者はより重度化している。求められる医療サービスの内容が大きく変わる中、担い手の小児科医師の減少や成人となった子供達をどの診療科が受け持つかが課題。現に天竜病院でも医師が一丸となり受け持っている。

今後、国立病院機構では、日中活動のガイドラインで方針を決めていく。

面会が解除されたとはいえ、子供達を散歩に連れて行くこともできず病院によっては病室の入室も禁じられています。しかしながら、コロナ禍以前のように自由に出入りが許されている施設もあります。少しは、規制を緩めて欲しいのが希望です。

(虐待について)

虐待があった時、要素が含まれる行いがあった時は、速やかに病院から家族に隠さず事実を伝え、今後の改善策を講じるべきだとお話がありました。全くその通りだと思います。家族に限らず職員に対しても公表し、しっかり意識や対策を高めていって頂きたい。物言えぬ子供達が一番の被害者です。生活を守るのが病院。感染対策ばかり厳しく制限をかけるのは相反すると思います。

(日中活動について)

グループごと少人数制で、人が少ない場所への外出を検討していても良いではないか。病院敷地の中ばかりで、代り映えがしない。感染対策しながら自分達も気分転換に車で出かけたりしますよね。子供達だっておなじです。取り入れるべき。また、出来ることを探してどんどん日中活動に役立ててもらいたい。また、保護者会もその費用やお手伝いは致します。

☆とても最重要な事・・・マンパワー不足です。医師・看護師・保育士・療育指導室

身近なところで看護師さん、保育士さん、お知り合い等にいらっしゃいましたら天竜病院を是非ご紹介ください。

「守る会 東海北陸ブロック大会」守る会 東海北陸ブロック大会」

日時 11月18.19日（土・日）

場所 クラウンパレスホテル(浜松駅北口前)

地元 浜松で開催されます。

○18日のシンポジウムは、 天竜病院 療育指導室長

「藤森 豊 先生」 が登壇されます。

○19日は、来賓として 天竜病院 院長

「白井 正浩 先生」 がお目見えになります。

○ 大会参加費 3000円

～大会参加者は、参加費・交通費・宿泊費を

保護者会より負担致します ～

● どちらか1日だけの参加も、 OK です。

*多くの参加者を募ります。よろしくお願いいたします。

担当 事務局 川井千代美

連絡先 090-2186-0498